

【事業概要】鉄道とタクシーを組み合わせる宅配貨物の貨客混載輸送

物流総合効率化法認定事例

実施主体

佐川急便(株)、
北海道旅客鉄道(株)

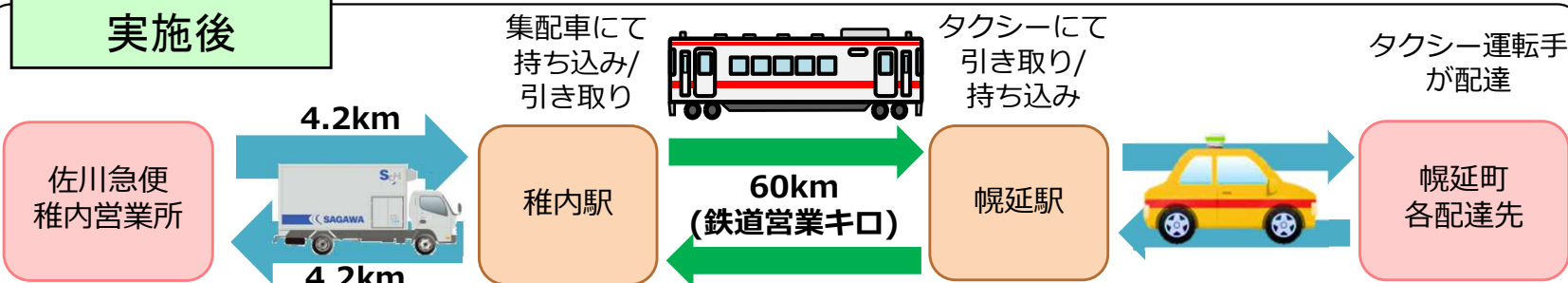
事業内容

佐川急便稚内営業所から幌延町向けの宅配貨物の一部を、稚内駅から旅客列車に積み込み、幌延駅からタクシーが各配達先までの配達を行うことで、省力化と環境負荷低減を実現。

実施前



実施後



稚内駅でのトラックからの
荷物降ろしの様子



列車への固定
輸送の様子



電動階段昇降式台車を用いる様子(幌延駅)



タクシー車両への
積み込みの様子

位置関係図



国土地理院地図を元に加工
<http://maps.gsi.go.jp/>

特徴

- 日本で初めての事例となる複数の旅客輸送モード(鉄道とタクシー)を組み合わせる貨客混載を実施
- 交通事業者の新収入源や、物流事業者の労働力が確保でき、連携する事業者すべてがメリットを享受

効果

- CO₂排出削減量: 3.8t-CO₂/年(83%)削減
- ドライバー運転時間: 約417時間/年(34%)削減

【事業概要】地元産品の出荷に路線バスを活用する貨客混載輸送

実施主体

道北集約出荷・地域配送改善プロジェクト
道北バス(株)

事業内容

旭川市江丹別のブルーチーズ等を生産者が路線バスに積み込み同市中心部へ出荷。
既存の路線バス有効活用によりトラックドライバーの省力化と環境負荷の低減を実現。

実施前



実施後



位置関係図



特徴

- 地域の事業者主体による地元産品の出荷業務を効率化 (出荷業務、輸送管理を専用システムで効率化)
- トラックドライバーの省力化と環境負荷の低減を実現
- 定期的な運送収入により郊外のバス路線の維持に寄与

効果

- 集荷(往復約50km走行と積み込み)に要する時間約2.5hを削減
- 1回あたり4トントラック往復約50kmで排出されるCO₂約850gを削減

【事業概要】乗合タクシーを活用する宅配貨物の貨客混載輸送

実施主体

佐川急便(株)
旭川中央交通(株)

事業内容

佐川急便旭川営業所で宅配貨物を乗合タクシーに積み込み旭川市米飯地区へ運送、地区内の戸別配送まで行うことでトラックドライバーの省力化と環境負荷の低減を実現。

実施前



佐川急便
旭川営業所

旭川市
東旭川駅周辺



20km



20km

東桜岡地区

豊田地区

米原地区

瑞穂地区

旭川市
米飯地区※

※4地区を総称した地名

実施後



佐川急便
旭川営業所

旭川市
東旭川駅周辺



米飯地区と東旭川駅周辺を結ぶ乗合タクシー



東旭川駅周辺
指定乗降場所



東桜岡地区

豊田地区

米原地区

瑞穂地区

旭川市
米飯地区※

※4地区を総称した地名



乗合タクシーへの積込の様子

- 旭川市米飯地区と東旭川駅（約20km）の間を予約に応じて、平日10便・土日祝日7便、運行。
- 後部に荷物の置き場を設けた車両（ワンボックスカー）を使用、佐川急便旭川営業所で荷物を積載。
- 東旭川駅周辺から米飯地区まで通常運行後、予約のない時間等を利用して、各配達先へ荷物を配達。